

農業の環境負荷低減を目指す「みどりの食料システム戦略」を推進するための「環境と調和のとれた食料システムの確立のための環境負荷低減事業活動の促進等に関する法律」が本年7月に施行されました。

化学肥料や農薬に頼らず、自然のしくみを活かした農業を推進する機運が高まり、有機農業研究者会議が果たしてきた有機農業技術情報交流の場への期待も増えています。

そこで今年も国、地方自治体、大学および民間の研究者など有機農業の試験研究に従事または関心のある方々同士や有機農業実践者との情報交流を行える場として、「有機農業研究者会議2022」を開催します。

今回は、新型コロナウイルスの感染症の拡大を考慮しオンライン方式(Zoom)で開催します。また、オンラインの特徴を生かし、都道府県、関係法人などにパブリックビューイング形式の参加を呼びかけ、全国各地から参加できるようにします。

なお、会議終了後の動画の配信は行いません。

開催内容は、第1部では有機農業技術の横展開と販路の拡大への課題についての基調講演と実施者の事例発表と技術普及への要望を、第2部では農研機構などから実践技術および最新技術を活用した雑草防除へのアプローチを紹介いたします。



研究者会議情報サイト



1年ごとに果実を成らせる生産部と、枝ごと剪除して果実を一切成らせない遊休部を設ける主幹別隔年交互結実方式で、温州ミカン病害虫抑制と単収の向上・安定並びに省力化を図る(菊池正晴氏提供)

オンライン 有機農業研究者会議 2022

2022年 10月19日(水) 10:00▶17:00

参加費 ●個人参加(家族での視聴可)…2,000円(資料集のPDFファイルを配布)
●パブリックビューイング会場…10,000円

団体名で申込。会場に応じて何人でも参加可能。会場費などパブリックビューイング形式を採用される場合にかかる費用は、お申込みいただいた団体で負担。資料集のPDFファイルを事前に送付するので、必要数を印刷して利用可

●印刷した資料集…1,000円(送料込む)

会議開始前日までにお手元に届くように発送。パブリックビューイング会場で複数冊必要な場合は、1,000円×冊数分の金額が必要

申込締切 2022年10月12日(水) ※ただし、印刷した資料集を必要とする方は、10月5日(木)までに申し込んでください。

【主催】「有機農業研究者会議2022」実行委員会 【共催】(国研)農研機構・中日本農業研究センター、(国研)農研機構・植物防疫研究部門、日本有機農業学会、NPO法人有機農業参入促進協議会 【後援】農林水産省

基調講演講師紹介



たにくち よしみつ
谷口 吉光

1956年、東京都生まれ。秋田県立大学地域連携・研究推進センター教授、日本有機農業学会会長。博士(農学)。

専門は環境社会学、食と農の社会学、有機農業、持続可能な社会への転換など。

主著に、『八郎潟はなぜ干拓されたのか』(秋田魁新報社、2022年)、『有機農業大全：持続可能な農の技術と思想』(共著、コモンズ、2019年)、『「地域の食」を守り育てる—秋田産 地産地消運動の20年』(無明舎出版、2017年)など



畑用除草ロボット(田澤純子氏提供)



施設有機トマト(澤村輝彦氏提供)



難防除雑草マルバノコウ(帰化アサガオの一種)の芽生え期。画像認識技術を活用して量が出る前に発見(松橋彩衣子氏提供)

日程

9:30-10:00 受付
10:00-10:15 開会あいさつ
10:15-12:30 **【第1部】有機農業技術の横展開と販路の拡大への課題**
■座長 佐伯昌彦(株式会社マルタ)
■基調講演 ■「有機農業技術の横展開と販路拡大への課題」
谷口吉光(秋田県立大学)
■事例発表 ■「有機農業実施農家の取り組みと技術普及への課題」
澤村輝彦(施設トマト栽培。肥後あゆみの会、熊本県)
菊池正晴(柑橘栽培。菊池農園、愛媛県)
質疑応答
コメント「有機農業拡大への農業政策」(農林水産省)

13:30-17:00 **【第2部】実践技術及び最新技術を活用した雑草防除へのアプローチ**
■座長 三浦重典(農研機構中日本農業研究センター)趣旨説明
1. 講演
①雑草の生態を活用した抑草技術に関する基礎知識
小林浩幸(宇都宮大学)
②雑草を味方にするイネの有機栽培技術
館野廣幸(栃木県野木町)
2. 最新の研究、技術開発の紹介
①米ぬか散布はコナギの発芽にどう影響するのか?
野副卓人(元農研機構)
②AIを活用して難防除雑草を芽生えのうちに発見する
松橋彩衣子(農研機構植物防疫研究部門)
③畑用除草ロボットの開発状況と課題
田澤純子(農研機構中日本農業研究センター)
3. 総合討論
閉会あいさつ

※演題の一部は仮題です。講師など内容は変更になる場合があります(文中敬称略)。

「有機農業研究者会議2022」実行委員会事務局 NPO法人有機農業参入促進協議会(有参協)

〒101-0021 東京都千代田区外神田6-5-12 偕楽ビル(新末広)3階 株式会社マルタ内
TEL:050-5362-1815 E-mail:office@yuki-hajimeru.net ウェブサイト:yuki-hajimeru.net

問い合わせ
申込先



参加申込フォーム